



民生委員・児童委員の  
マーク

# ありがとうの声

日頃から地域を支えてくださっている民生委員・児童委員の皆さんへ

このページでは行政や社会福祉協議会の職員から寄せられた感謝のメッセージをご紹介します。皆さんの活動が、地域に安心とつながりを届けていることを、寄せられた声からぜひ知ってください。

出産を経験した際、気にかけてくれる民生委員・児童委員さんの存在に救われたことをきっかけに地域に関心を持つようになりました。

現在、社会福祉協議会に転職しCSWとして活動しています。民生委員・児童委員の方々のつながり、顔の見える関係ができたからこそ私自身CSWとして地域課題や問題にぶつかった際に、一人で抱え込むことなく、時に相談し、時に支えていただきながら仕事に取り組むことができています。

社協職員

地域の方から「この前はありがとうね」「あなたの顔見ると元気になるがね」と声をかけられている民生委員の皆さまを見るたびに、日々、活動をこまめにされていることが分かります。皆さんの活動にいつも助けられています。

行政職員



## 地域の身近な相談役

# 民生委員 児童委員

になってみませんか？

行政の情報発信はHPや広報等、一方的なものになりがちですが、民生委員さんは住民の立場でお困り事やニーズを聞き取り、個々に応じた福祉サービス等の情報提供を行っていただいております。

地域の中で住民と顔が見える関係性をもつ民生委員さんの存在は、地域福祉を推進していくにあたり、不可欠な存在であると思います。

行政職員

相談支援の現場において、私たち支援者は面談時のみの限られた関わりとなる一方、民生委員・児童委員の皆さまは、同じ地域に暮らす生活者としての視点から、日常的かつ継続的に地域住民の皆様の暮らしを支えていただいております。

その活動は、制度やサービスだけでは行き届きにくい部分をつなぎ、相談者の暮らしをより安心で豊かなものにしていただいております。いつもありがとうございます。

社協職員

地域の高齢者をはじめとした住民の皆さまに寄り添い、声掛けや居場所の創設等にご尽力いただきありがとうございます。皆さまが地域の中で寄り添い、見守り、支えてくださっているおかげで、私たち社会福祉協議会も安心して地域福祉活動を進めることができています。

高齢者の孤立防止、困りごとを抱える方への相談対応など、目には見えにくいけれども大切な「つながり」を築いてくださっていることに、深く敬意を表します。

社協職員

市役所に入るさまざまな相談事において、いつも民生委員・児童委員の皆さまがすぐに見守り訪問し、専門機関に情報提供していただき、何人の方が必要なサービス受給などの支援につながっています。

皆さまの存在こそが行政と住民をつなぐ重要な役割を果たしていると日々感じています。いつも本当にありがとうございます。

行政職員

発行元

愛知県福祉局福祉部地域福祉課福祉活動支援グループ

名古屋市中区三の丸3-1-2 TEL052-954-6262 FAX052-954-6945

協力団体

愛知県社会福祉協議会 民生児童委員会

愛知県民生委員児童委員連盟

令和8年1月発行



愛知県

# Contents

- P02 民生委員・児童委員の5つのはたらき
- P03 まずは知ってほしい! 民生委員・児童委員のキホン
- P05 民生委員・児童委員の活動紹介
- P07 地域を支える私たちのホンネ座談会
- P08 民生委員・児童委員活動に関するお悩み・不安相談室
- P09 ちょっと言わせて! やってみてわかった、このしごとの魅力

## この冊子を手にしてくださった皆さんへ

### 民生委員・児童委員って、どんな人?

どこで、どうやって私たちの生活に関わっているの?

民生委員・児童委員に興味をもってください、ありがとうございます。

『地域で暮らす誰もが安心して毎日を過ごせるように』

そんな思いを胸に、私たち民生委員・児童委員は活動しています。

特別な資格や経験は必要ありません。

大切なのは、「誰かの力になりたい」「地域をよりよくしたい」という気持ちです。

あなたのその思いが、誰かの安心につながります。

一人でも多くの方が、地域の中で笑顔で暮らせるように、

私たちと一緒に一歩を踏み出してみませんか?



# 民生委員・児童委員の5つのはたらき

誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、民生委員・児童委員は「地域の相談役」として活動しています。困っている方に寄り添い、行政や地域の支援に結びつける大切な存在です。「どんなことをしているの?」「どんなときに頼ればいいのか?」そんな疑問にお答えしながら、地域で支え合う仕組みを少しのぞいてみませんか?



## 1 相談・支援

「ちょっと困った」「誰に相談したらよいか分からない」そんなときに話を聞き、必要に応じて福祉サービスや専門機関へつなぎます。一人ひとりが自分らしく安心して生活できるよう、地域住民の立場から寄り添い、支援を行っています。



## 2 調査

民生委員・児童委員は、地域の暮らしの様子をよく知る“地域の目”として活動しています。日ごろから住民の生活の様子や困り事を気かけ、必要に応じて支援につなげています。また、行政から依頼を受けて高齢者の生活実態調査などに協力し、地域の課題を把握する役割も担っています。



## 3 情報提供

福祉サービスや地域の支援制度など、暮らしに役立つ情報を伝えます。「どんな制度があるの?」「どこに相談すればいいのか?」といった疑問に答え、必要な支援につながるようお手伝いします。



## 4 行政との連携

地域の実情を行政へ伝えたり、行政からの情報を住民に届けたりして、橋渡しの役割を担っています。日ごろから地域の声を把握し、制度や支援の周知に協力するほか、行政や学校との会議に参加して、子どもや教職員とも顔の見える関係づくりを行っています。

## 5 地域福祉活動への参加

地域のさまざまな福祉団体やボランティアと連携し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。たとえば、地域での孤立を防ぐために、高齢者サロンや子育てサロンの運営を手伝い、住民同士がつながる場づくりを支援しています。





**Q** 民生委員・児童委員ってなに？

**A** 民生委員・児童委員は、地域住民の立場から生活や福祉に関する支援を行う地域の相談役です。特別職非常勤の地方公務員という公的な立場で活動していますが、これはあくまで法律上の身分であり、活動に対する給与は支給されません。民生委員法の定めにより、地域のために無報酬で奉仕しています。ただし、訪問時の交通費といった活動に必要な実費が支給されます。

**Q** 愛知県では何人の民生委員・児童委員が活躍しているの？

**A** 県内では約12,000人の方が活躍しています。(市町村ごとの委員の数は”愛知県民生委員定数条例”で定められています。ただし、政令指定都市・中核市については、それぞれの市で独自に定数条例を定めています。)



**Q** 主任児童委員ってなに？

**A** 主任児童委員は、民生委員・児童委員のなかで子どもや子育て支援を「専門に担当」する人です。特定の区域を担当せず、区域担当の民生委員・児童委員と協力しながら、児童福祉に関する機関(学校、児童相談所など)との連絡調整や、専門的な立場からの支援を行います。



**Q** 民生委員・児童委員は何歳くらいの人が多いの？

**A** 愛知県の民生委員・児童委員の中で最も多い年代は60代です。しかし活動日が決められているわけではないので、子育てや仕事をしながら両立している方も多くいらっしゃいます。

**Q** 民生委員・児童委員にはどうやってなるの？

**A** 民生委員・児童委員は自治会・町内会等、地域の方々からの推薦で候補者として選ばれ、市町村の推薦会を経て、都道府県から国に推薦された人を厚生労働大臣が委嘱します。



**Q** 民生委員・児童委員になるために資格は必要なの？

**A** 特別な資格や免許は必要ありませんが、原則、活動する地域の市町村議会の議員の選挙権をお持ちの方から選ばれます。

**Q** 民生委員・児童委員の任期は？

**A** 民生委員法で任期は3年\*と定められています。3年の任期が満了するごとに、全国一斉に委員の改選(一斉改選)が行われます。\*再任される方もいます。

**Q** 活動する上で、守るべきことはあるの？

**A** 地域住民に安心して相談してもらえるよう、民生委員・児童委員には**守秘義務**(民生委員法第15条)が課せられており、支援に必要な関係機関等の情報共有を除き、相談を通じて知った**個人の秘密**を他に漏らすことは、法律で固く禁止されています。また、民生委員・児童委員としての立場を利用した政治活動についても禁止されているのでご注意ください。



## Topics 1 岡崎市 子育て支援活動

「孤育て」を防ぐ「親戚のおばちゃん」として  
お母さんをそっと支えるコミュニティをつくりたい



平松さん

親子遊びの場を提供しています。一日中子どもと2人きりで過ごし、孤独を感じているお母さん、余裕のないお母さんなどが、外の空気を吸い、少しでもリフレッシュできるように…。子どもだけではなく、自分も大事にできるように…。子育ての先輩として、何でも言える相談相手を目指しています。卒業後、成長した子どもを連れてお母さんに再会したときなどは、とてもうれしくなります。



市民会館を親子が集まって遊ぶ場に



室内で公園のように遊ぶよう工夫



子どもの笑顔が、平松さんの一番のご褒美

### Voice 利用者の声



- 子どものアトピーに悩んでおり、話を聞いてもらいながら、泣いてしまったことがあります。聞いてもらったことで心が軽くなりました。

## Topics 2 一宮市 訪問活動

一人ひとりに寄り添う訪問活動  
世間話や悩み相談で安心を届けたい



前田さん

地域の人々を見守る活動です。一人暮らしの高齢者宅や、介護をしているお宅を訪問します。話し相手になり、ただただ悩みを聞くことも。寂しさを感じている方も多いので、笑顔で接して安心してもらえるようにしています。「ありがとう、ありがとう」「あなたがおらんと何もできん」と言って喜んでもらえると、頼りにされていると感じます。大変なこともあります、やめたいと思ったことはないんですよ。



「来てくれてありがとう」の言葉がやりがい



つながりの大切さを感じる訪問活動

### Voice 利用者の声



- おしゃべりの時間が楽しく、訪問時間が待ち遠しいです。
- 家族の介護中に話を聞いてもらえる機会があり、心の支えとなりました。

## Topics 3 刈谷市 訪問活動

助け合いの輪で、地域ワンチーム  
地域全体のことを考えて力を合わせる

地域の高齢者のお宅を訪問し、コミュニケーションをとるのが一番大事な活動です。「助けてほしい」と声をあげられない人もいますので、家にこもりがちな方の見守りには、特に注力しています。刈谷市桜地区では、地域の課題解決のために地域のみなで力を合わせるスタイルが根づいており、民生委員だけで背負うのではなく、地区社協の職員さんや自治会、自主防災会、老人会、地域包括支援センターの職員さんなどがお互いに協力し合うことができています。いろいろな仲間にも助けられてばかりです。



担当の高齢者宅への訪問



信頼関係を築くことを大切に

### Voice 利用者の声



- 守秘義務を守ってもらえるので信頼しています。
- 地域をよりよくしようと動いてくださっているのがわかり、頼もしいです。

## Topics 4 刈谷市 サロン活動

孤立を防ぐサロン活動  
おしゃべりから始まる支え合いで地域を元気に



中村さん

お茶とおしゃべりを通じて、地域の方々がほっとできる場を提供しています。理学療法士や看護師の方などに来ていただく体操の会もあります。立場としては支える側ですが、実際には仲間や地域の方の存在に励まされ、私の方が力をもらっていると感じることも多いです。参加した方々の笑顔や、活動を通じて出会った仲間の存在は、人生の宝であり、今後の後任探しを視野に、民生委員活動の周知も進めています。



笑顔広がる「高齢者サロン」



高齢者が安心して集える場に



地域包括支援センターの職員と情報交換することも

### Voice 利用者の声



- おしゃべりをしていると楽しく、あっという間に時間が経ちます
  - 中心となって地域交流の場を設けてくれてありがたいです。
- ※民生委員と「高齢者サロン」の関わり方は、地域によって異なります。

# 地域を支える私たちのホンネ座談会

長久手市内の民児協定例会後、現職の民生委員・児童委員の皆さんにお集まりいただき、活動に関する率直な本音をお聞きしました。\*市町村によって状況は異なるため、ここで紹介する内容はあくまで一例です。



座談会中の風景



定例会の風景。月に1度実施しており、地域の皆さまの生活をより良くするための情報共有や意見交換を行います。



座談会終了後。リラックスして話せるこの時間で、民生委員同士の関係が深まります。

## 民生委員の共通点

「誰かのために」「地域のために」という気持ちを持った、優しい方が多いように思います。福祉の知識や経験にかかわらず、活動の中で必要なことを学ぶ姿勢があり、前向きで勉強熱心な方が多いのも民生委員の特徴です。活動を通じて得た知識が私生活に役立ったという声もありますよ。

## 新任時代はドキドキだらけ

活動を始めたばかりの頃は不安だらけでした。「誰に聞けばいいのか」「こんなことを聞いてもいいのか」とドキドキ。まったく知らない方のお宅へ訪問するのもドキドキ。はじめは啓発品やチラシ、名刺などを持参し、まずは顔を覚えていただくことから始めました。前任に同行してもらえる訪問は心強かったです。

## サポートしてくれる仲間たち

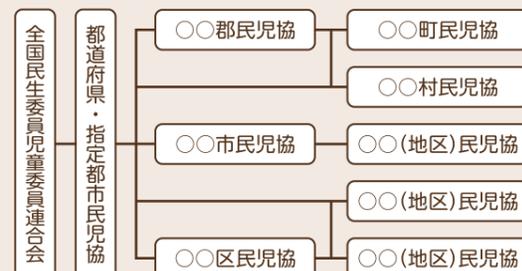
市町村社会福祉協議会に配置されているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の存在が大きいです。事例は一つとして同じものではなく、デリケートな課題も多いですが、私たち民生委員が地域の課題を見つけ、CSWにつなぐことで、専門的な支援へと進展させていけます。先輩民生委員や地区の仲間などに気兼ねなく相談できる雰囲気もありがたいです。

## 活動に求められる工夫や配慮

お宅へ訪問する民生委員は、歓迎されることばかりではないので、関係性を築くことが大切です。周りの目を気にされる方もいるので、民生委員だとわかる名札やベストの着用を避ける、会話の内容が外に聞こえないようにするなどの気遣いも大切です。

### 民生委員・児童委員は

民生委員児童委員協議会（民児協）に所属し、仲間と共に活動します



## 民生委員・児童委員活動に関するお悩み・不安相談室



民生委員・児童委員としての疑問やお悩みを、わかりやすくご紹介します。

**Q** 活動頻度はどのくらいですか。仕事や子育て・介護をしながらでも活動できますか。

**A** 月に1回程度<sup>(※1)</sup>の定例会以外に、部会・研修等がありますが、見守り活動等は活動日が決められているわけではありません。無理のない範囲での活動により、仕事や子育て・介護を民生委員・児童委員活動と両立されている方も多くいらっしゃいます。

(※1)地区によって異なります。

**Q** 福祉に関する専門知識や経験がありませんが、活動に支障はないでしょうか。

**A** 民生委員・児童委員は専門職ではないので、特別な資格や経験は必要ありません。民生委員児童委員協議会での交流や研修等もありますので、活動の中で知識や経験を得ることができます。

**Q** 民生委員・児童委員は1人で活動しないといけないのですか。

**A** 民生委員・児童委員は1人で問題を解決するのではなく、地域で困っている方の相談に応じ、専門機関に「つなぐ」役割を担っています。1人で抱え込むことなく、行政や周囲の民生委員・児童委員どうしで相談しながら取り組んでいただくこともできます。

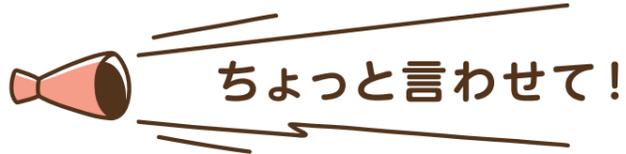
**Q** 今まで地域との関わりがなかったのですが、活動できるでしょうか。

**A** 長くお仕事をされてきた方で、定年後に新たに民生委員・児童委員の活動を始める方もいらっしゃいます。活動の中で、民生委員・児童委員の先輩や仲間をはじめ様々な人と出会い、地域との関わりも広がっていくため、不安に思わなくても大丈夫です。

**Q** 活動中のケガや事故に対する補償はありますか。

**A** 全国すべての民生委員・児童委員が、「民生委員・児童委員活動保険」<sup>(※2)</sup>に加入しています。また、民生委員・児童委員は特別職非常勤の地方公務員に位置づけられているため、公務災害補償を受けることもできます。

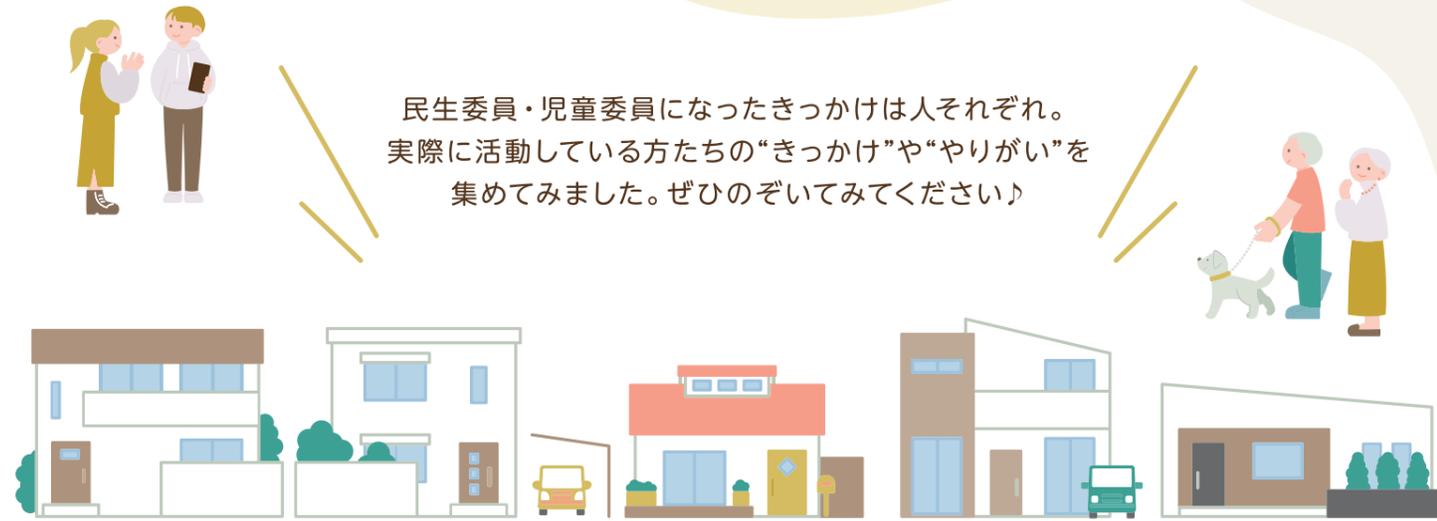
(※2)全国民生委員児童委員連合会が一括して保険契約を行っているので、個別での加入手続き・保険料の払込等の必要はありません。



# やってみてわかった、このしごとの魅力



## 現役 民生委員・児童委員のリアルな声



「今日も1日、誰とも話さなかったな…という日が多いのに、こうして訪ねてくださって話ができるのはとても励みになります」と言ってくださる方や笑顔をくださる方への訪問は、私の方が元気をいただいています。早いもので6年というお付き合いになり、ご自身の辛かった体験や深い思いを話してくださる方もいます。守秘義務と傾聴は大事ですね。

民生委員という立場でなければ知り合うこともなかった方々との会話を通して、わたしが生き方を教えていただいているのだと、とてもありがたく思うこの頃です。



Aさん (津島市/6年目)

初めて民生委員になった頃は、訪問する高齢者の方と面識がなく、警戒されるような雰囲気の方もみえました。しかし、訪問を重ねていくうちに信頼されるようになり、明るくあいさつしてもらえるようになりました。

また、地区の巡視をしていて、自宅の畑で元気に農作業をしている方と言葉を交わしたり、訪問した高齢者の方から逆に労いの言葉をかけられることもあり、嬉しく感じます。

民生委員の活動を通して、少しは地域に貢献できているのかなと思うようになりました。



Bさん (碧南市/13年目)

民生委員が何をすることも知らなかった40代の頃、私は自治会長さんに力強くお願いされたため、民生委員を引き受けました。

「民生委員の仕事は、決められているようで決まっていない。自分でどんどん広げていける」という先輩の言葉を、20余年経った今も心に留めています。訪問して“困ったサイン”を見つけ、解決策を共に考えたり、関係機関につなげられたりした時は喜び合い安堵する瞬間です。

民生委員をしていなかったら出会えなかった人々にたくさん出会えたこと、地域の児童・生徒と楽しく会話できることの喜びが、民生委員活動をする私により力を与えてくれています。



Cさん (蒲郡市/24年目)

息子の子ども会活動に関わったことをきっかけに、いずれ地域のためにボランティア活動がしたいと思っていました。

55歳で講師を辞めたとき、偶然民生委員・児童委員のお話を頂き、お引き受けしました。多くの信頼できる仲間に出会えたことは、私の人生の宝となっています。

その仲間と共に、地域で高齢者サロンを始めとした活動ができてきていることはこの上ない喜びです。



Dさん (刈谷市/15年目)

私は、交通量の多い交差点で小学生や中学生の登校を見守る活動をしています。特に雨の日、雪の日は私たちの出番だと意気込んで、長靴、雨がっぱを前日から用意して臨んでいます。

やりがいの元は何といっても子どもたちの笑顔と元気なあいさつです。また、通りかかった地域の皆さんから「ご苦労様」と声をかけられることが多く、地域の役に立っているんだと嬉しくなります。

今後も、民生委員・児童委員として健康の続く限り続けていきたいと思っています。



Eさん (知立市/8年目)

最初は大変だと思っていた民生委員活動ですが、長く民生委員をされている方の「私たちは地域のパイプ役だよ。1人で解決が難しい問題は関係機関に連絡してみんなで見守っていく。重く考えなくていいよ。」という言葉で意識が変わりました。

活動を通して人とのつながりが増えていくのは、民生委員をやっているおかげかなと思う今日この頃です。



Fさん (田原市/5年目)

民生委員として地域活動に参加することで顔見知りになり会話やあいさつをする人が増え交友関係が広がったことは良かったと思っています。

民生委員児童委員協議会では、新しい制度や認知症についての勉強会など有意義な時間を過ごさせていただいています。他地域の民生委員さんや関わる機関の方々にもいろいろと相談に乗っていただき良い方向にむかったこともありました。

何年経っても民生委員とは何かを考えながらこれからも地域の皆さま方と協力しながら活動していこうと思います。



Gさん (蟹江町/11年目)

